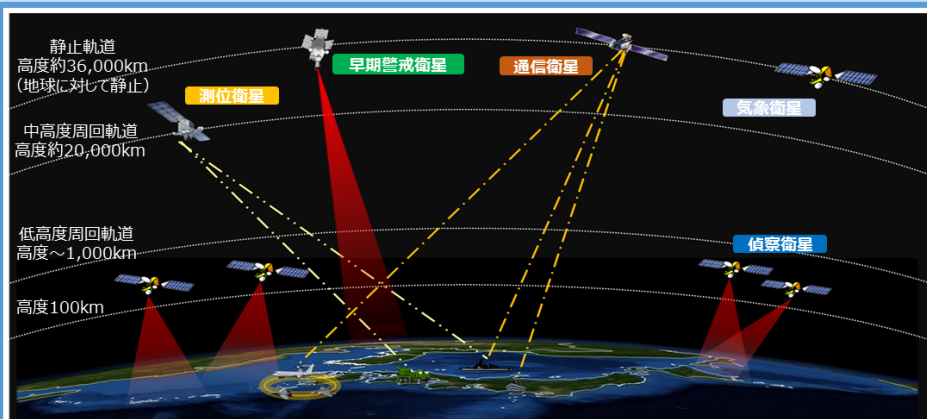


### 宇宙分野の情勢はどうなっているの？



主要国は、早期警戒、通信、測位、偵察機能を持つ各種衛星の能力強化や機数増加に注力しています。

昨今は、**中国の増加が顕著**であり、  
2012年からの **11年間で約4.9倍** に急増しています。



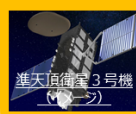
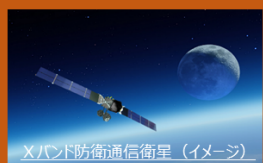
【早期警戒衛星】 DSP・SBIRS (米) など  
・ 弾道ミサイル発射の早期探知に利用

【通信衛星】 Xバンド防衛通信衛星 (日)、WGS (米) など  
・ 遠距離に所在する部隊との通信に利用

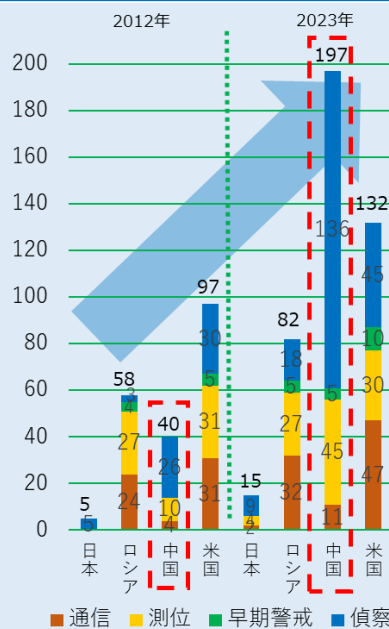
【気象衛星】 ひまわり (日) など  
・ 気象状況の把握・予測に利用

【測位衛星】 GPS (米)、準天頂衛星 (日)、北斗 (中) など  
・ 正確な場所の把握、システムの時刻同期等に利用

【偵察衛星】 情報収集衛星 (日) など  
・ 情報収集等に使用



各国の保有する軍用衛星の種類と運用機数



出典：military balance2012、2023 (日本除く)



宇宙領域は今や国民生活や安全保障の基盤であり、  
**宇宙利用の優位を確保することは、日本にとって極めて重要です。**  
防衛省・自衛隊では、宇宙領域を活用した情報収集等の能力を含めた  
**宇宙作戦能力の強化**を進めています。